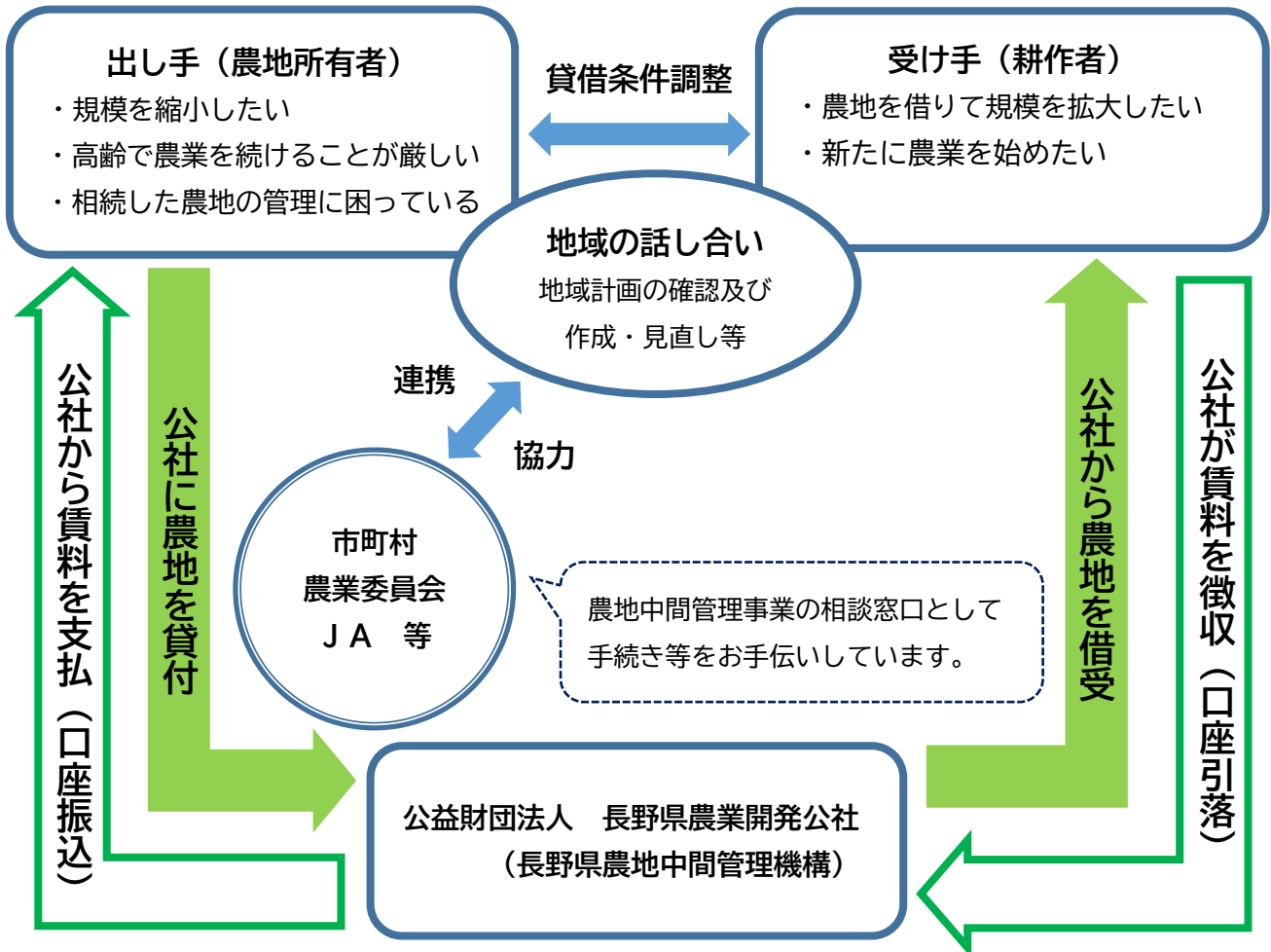


農地中間管理事業のしくみ



農地中間管理事業の特徴

出し手(農地所有者)

- 公的機関を介しているため、安心して農地を貸すことができる。
- 貸借期間満了後、農地は確実に返還される。
- 賃料は、口座振込により公社から所有者へ確実に支払われる。
- 貸借期間満了後に継続して貸付する場合も更新手続きが簡単にできる。
- 一定の要件を満たせば、固定資産税が2分の1に軽減される。

受け手(耕作者)

- 長期に安定して農地の借入れができる。
- 経営規模の拡大ができる。
- 賃料は、公社がまとめて出し手に支払うため事務が一本化できる。
(出し手ごとに分けて支払う必要がない)
- 貸借期間満了後に継続して借受ける場合も更新手続きが簡単にできる。